

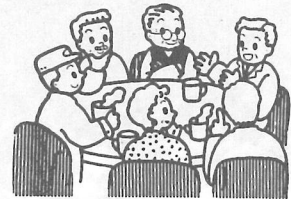
# 点検を重

次いで多いのが、午後2時台と午後11時台です。できるなら、家庭の中にも簡易型火災警報機を取り付け、寝ている間の出火にも対応できるよう、万全の対策をとりたいものです。

## 避難場所や避難経路を家庭で話し合おう

火災での死亡原因で一番に多いのはやけど、次いで一酸化炭素中毒に巻かれての窒息です。死に至る経過では、逃げ遅れが多いのが特徴です。

発見が遅れ、気づいたときには火や煙が回り、すでに逃げ道がなかったと思われることが多くなっています。



焼死者のほぼ半数以上は、お年寄りや乳幼児、病人や体の不自由な人です。お年寄り



消防車は火を消す水をたくさん積んでいます (保善所避難訓練)

## 防火ポスター作品展示会

八日市場市外三町消防組合では、春の火災予防運動の一環として、管内小中学校の防火ポスターの作品展示会を開催しますので、ぜひご覧ください。

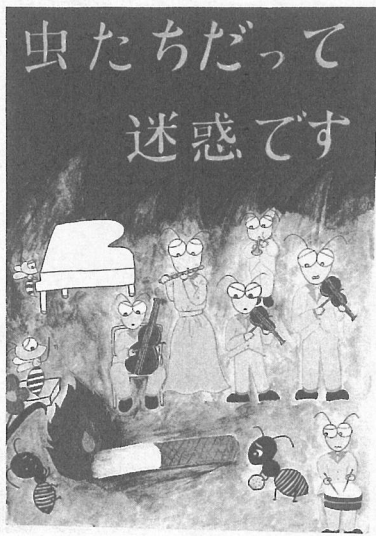
### ●消防組合長賞

長谷川 靖 (横芝小)  
水野 恵理 (横芝中)

### ●危険物安全協会長賞

伊藤智佳子 (大総小)  
鈴木 裕也 (横芝小)  
伊藤 春菜 (上堺小)  
小川美由貴 (横芝中)

●展示期間 3月1日～7日  
●展示会場 町文化会館ロビー (横芝町の小中学生の作品を展示)  
また、横芝町の主な入賞は次のとおりです。(敬称略)  
●最優秀賞  
広瀬 梓 (横芝小)



最優秀賞に選ばれた作品

や子どもは、玄関や非常口など、出口に近い場所に寝室をつくるような配慮が必要です。そして、日頃から家庭で火災があつたときの避難場所や避難経路を話し合うことも大切です。

各地の消防署では、「春の全国火災予防運動」の期間中、消火訓練をはじめとして多くの行事を実施します。こうした行事には家族や地域で積極的に参加し、火災通報の正しいかけ方や初期消火のやり方、さらに正しい消火器の取り扱い方などを教わりましょう。火災が起きたときでも慌てず、スムーズに火を消し止められるのは、一人ひとりの地道な努力なのです。

## これだけは守ろう 「火の用心」

最低限守っていただきたい「火の用心」のポイントを7つ紹介しましょう。

- ①寝たばこやたばこの投げ捨てをしない
- ②子どもは、マッチやライターで遊ばせない
- ③風の強いときは、たき火をしない
- ④天ぶらを揚げるときは、その場を離れない
- ⑤家の周りに燃えやすいものを置かない
- ⑥風呂の空だきをしない
- ⑦ストーブには、燃えやすいものを近づけない

